

2023年3月期 決算説明会 主な質疑応答

開催日時：2023年5月25日 本社（澁澤シティプレイス永代）にて

出席者：取締役社長 大隅 毅

取締役常務執行役員 倉谷 伸之

上級執行役員 総合企画部長 浅原 邦康

執行役員 経理部長 池田 覚

Q1：国内物流ネットワーク拡充の新拠点における集荷状況について

回答：本牧埠頭倉庫は、既存の山下倉庫における輸出入貨物の移管に加えて、拠点規模が約2.5倍に拡大することから、新規貨物の集荷も進める。

当社の横浜地区においては、本牧埠頭倉庫、恵比須町倉庫、大黒倉庫で取扱い貨物の集約による機能分化を推進し、各拠点運営の効率化を図っていく。

茨木と神戸七突の危険物倉庫は、危険物倉庫の需要が増加していることから、十分に集荷可能と考えている。

Q2：次期中期経営計画の策定に向けた重点施策について

回答：飲料や多品種少量貨物に適したDX推進、首都圏、中京圏、関西圏の都市部に近いエリアでの国内拠点拡充、海外拠点の域内物流拡充、物流の前後に位置する業務の一部受託や商社機能等の業域拡大といった現中計で布石を打った成長戦略をもとに、次期中計の重点施策を立てる。

Q3：海外事業の拡大について

回答：今期に営業を開始したフィリピンにおける事業を拡大する。

また、自動車部品などで需要が見込まれるタイを新拠点の候補として調査している。

Q4：市況が下落傾向のフォワーディング業務の今後の展開と市況の見通しについて

回答：海上コンテナ不足や航空貨物のスペース不足、変動が激しい運賃相場に対して、お客様に安定的なサービスや運賃を提供し、信頼を得ている。引き続き、安定的なスペース確保と運賃提供を行っていく。海上・航空運賃の市況は、4月から今期比で大幅に下落しているが、ここから更に大幅な下落はないと考えている。

以上